



第1回臨時会

9月5日~11日

8月12日

人事・条例	2
令和6年度決算	3
令和7年度補正予算	8
第1回臨時会	10
一般質問	11
観察報告	15



令和7年9月定例会

令和7年9月定例会は、9月5日から11日までの会期で開かれ、令和6年度決算認定、令和7年度補正予算など村長提出18議案、議員提出1議案を審議・採決した。

また、一般質問には4氏が登壇し、村政全般についてただした。その概要は以下のとおり。



山内 孝文氏



竹崎 孝夫氏

教育委員に山内孝文氏を任命したいとの提案があり、全員賛成で同意した。

固定資産評価審査委員に竹崎孝夫氏を選任したいとの提案があり、全員賛成で同意した。

職員の勤務時間、休暇等の条例の改正

人事

条例

教育委員に山内孝文氏を任命したいとの提案があり、全員賛成で同意した。

固定資産評価審査委員に竹崎孝夫氏を選任したいとの提案があり、全員賛成で同意した。

職員の勤務時間、休暇等の条例の改正

職員の育児休業等の条例の改正

【全員賛成で可決】

法の改正に伴い、職員の育児休業等の条例の一部を改正するもの。

災害その他非常の場合において、村長が認める時は、他の市町村長の指定を受けた者が、給水装置に関する工事を行うことができるよう、一部を改正するもの。

簡易水道事業給水条例の改正

【全員賛成で可決】

主なものは、部分休業について、国と同様に、勤務時間の始め、または終わりに限り、取得可能とする扱いを廃止するとともに、取得パターンの請求可能時間の上限を勤務日10日相当の時間とするなど。得パターンの請求可能時間の上限を勤務日10日相当の時間とするなど。

令和6年度 決 算

ふるさと納税返礼品費 4億8,123万円
道路改良工事費 1億7,008万円

一般会計

歳出 53億6,941万円



水上バイク隊訓練

消 防

例月の訓練に加え、
水防訓練や抜き打ち訓
練、水上バイク隊の訓
練などを実施した。

安芸市消防本部およ
び安芸市消防団と合同

で震災対応訓練を行い、

倒壊家屋からの人命救
助や資機材の使用方法
について確認した。

火災では2件の出動

があつた。

救急業務委託は、前

年度より23件減少し、
348件の出動があり、急
病213件・転医73件・負
傷35件・交通事故など
27件となつてゐる。



起震車体験

防 災

村内一斉防災訓練を
11月に実施し、避難訓
練やトランシーバーを

松原津波避難タワー
への避難路に、誘導看
板と手すりを設置した。
備蓄品は、食料品(ア

ルファ米・飲料水・缶詰・缶入りパン)、歯ブラシ、簡易トイレ処理袋、ポータブル蓄電池などを購入し、災害に備えている。



健 康・福祉

がん検診・集団健診は、事前予約制に加えて当日受診も可能として、待ち時間が少なく安心して受診できるよう環境整備に努めた。

受診者に村指定ごみ袋の配布や、子ども健診標語コンクールのほか、消防団総会や農協申告会場などでの啓発に取り組んだ結果、受診率が5年ぶりに40%を超えた。

租税債権管理機構

村税の徴収率は、前年度同率の98・9%となっている。

滞納繰越額についても、早期に滞納処分を行うことにより、滞納額の縮小に努めている。

健康意識向上と受診継続の取り組みとして、健診結果説明会は105人が参加した。

殺対策を総合的に推進するため、「第4期健

康げいせい21」を3月に策定し、出生から高齢期に至るまで、切れ

健康意識向上と受診継続の取り組みとして、健診結果説明会は105人が参加した。

殺対策を総合的に推進するため、「第4期健

康げいせい21」を3月に策定し、出生から高齢期に至るまで、切れ



集団健診

産業振興

地籍調査事業は、和食乙地区の335筆0・93平方キロメートルの一部地調査及び測量業務を行った。

移住促進は、東京・大阪で開催された「高知暮らしフェア」に出展した。



高知暮らしフェア

和食西北芝の分譲地は、3区画を販売し全区画を移住者に完売しました。

指導農業士のもとで
行つた。

土木環境

道和食東線の拡幅と転落防止柵設置工事を行つ。

1

園芸用ハウス整備事

就農した。

道路事業は、村道武

治水対策は、和食排
水機場No.2主ポンプ分

業は、繰り越し2件を含む高度化区分3件のレンタルハウスを整備したほか、流動化区分の中古ハウス3件の整

水産業は、ヒラメ稚魚の放流や漁港海岸、漁場の清掃活動支援を行った。

改良事業は、芸西線と吉野線の舗装改修を行つた。

解整備並びに電気設備
更新工事が完成し、2
年度から進めていた長
寿命化事業が完了した
県が進めていた、和
食川導流堤放水路内の
非砂施設の整備が完了

ベースション事業は、被

覆資材の高度化に取り組んだ8戸の農業者のほか、炭酸ガス発生器や環境測定器の導入など、11戸の農業者に環境制御技術支援を行つ

商工業は、小規模事業者経営改善資金の利子補給を行い、商工業者の経費負担の軽減を図った。

A wide-angle photograph of a bridge spanning a river. The bridge is a simple structure with a metal railing. In the background, there is a forested hillside. The sky is filled with clouds. The photo is taken from a low angle, looking up at the bridge.

燃料ノウハウ事業

燃料タングル対策事業は、流出防止付燃料タンクと防油堤2基の整備支援を行った。

農業担い手確保育成

は、新規就農者の2人に経営支援を、借地料の負担軽減を6人に

老朽住宅除却3件の支援を行った。



導流堤排砂施設

した。

和食ダム建設事業は10月にダム本体が完成し、11月からダム本体や周辺への安全性を確認する、試験湛水が行われた。

国 の 高 規 格 道 路 整 備
事 業 は 、 和 食 陸 橋 ・ 和
食 川 ・ 芸 西 西 イ ン タ ー
チ エ ン ジ 周 辺 の 橋 脚 工
事 や 江 渡 川 付 替 工 事、
西 分 地 区 の 地 盤 改 良 工
事 な ど が 行 わ れ た。



村道和食東線

地元施行補助金事業

は、水路などの改修で10件902万円、道路や排水路などの改良で8件160万円を補助した。

団体103万円を補助した
環境対策は、粗大ご
み集積所の地盤かさ上
りを行い、進入路の勾
配を緩やかにする改良
工事を行った。

ふるさと納税

寄附額は前年度より大幅に減少し、16億4741万円となつた。

集落活動センター

の土地鑑定評価・補償費算定業務・校舎配置案の基本計画策定および、用地の測量基本設計を行つた。

生涯教育は、日本語教室・生涯学習振興大会・成人式などを行つた。

資料館・美術館は、「なつかし・土佐電鉄写真展」など11企画展を開催し、両館併せて3469人が訪れた。

【全員賛成で認定】



R6 生涯学習振興大会

社会体育は、ビーチフットボール大会・新春タコの山登り・村内駅伝大会を開催した。

ボールバレー大会・ソフボルバレー大会・新春タコの山登り・村内駅伝大会を開催した。

万円。6年度は、貸付元利金115万円余りを徴収し、1人の償還が完了した。残り1人についても、分納計画に基づき償還されており、未収金は減少している。

医療費の抑制には、疾病を早期に発見し治療することや、日頃の生活習慣が大切であることから、特定健診の受診を促進し、受診率の向上に取り組んだ。

07万円の増額。給付費の高いサービスのうち、居宅サービス費は1億6355万円で前年度比1・0%の増加、施設サービス費は2億7268万円で前年度比1・0%の減少。

貸付宅資金計金

10・0%の減少。特定健診の受診率は40・6%で前年度比2・7%の増加。

算額は5億3541万円で、前年度より11人増の265人、サー

業は、購入予定地である教育施設等集約化事

シキビやサトウキビの収穫・販売・竹林整備に加え、草刈りや伐採の依頼が増え、収益は増加している。

加工品については、食品ギフトの展示会Good Food EXPO関西に「白玉糖蜜」を出品するなど、全国に販路拡大を行つた。

国保会計

歳入6億8497万円、歳出6億8017万円。

国保事業における平

均世帯数は72世帯、平均被保険者数は122人で、前年度より6世帯の減少、被保険者数は24人の減少。

保険給付費は4億4千円で前年度比

【全員賛成で認定】

会介護保険

歳入5億8214万円、歳出5億8177万円。

6年度末の人口は3547人、高齢者数は

1320人、高齢化率は37・2%となり、前年度比0・3%の減少。

1号被保険者数は、

前年度より10人減少し

1290人、認定者数

は4人増の265人、サー

介護予防・重度化予

防として、ふれあいセ

ンターなどで運動や栄

養、口腔機能向上など

の介護予防教室を延べ

45回開催し、372人の参

加があつた。

また、村民会館では

介護教室を3回開催し

延べ73人の参加、介護

予防講演会も2回開催し

延べ102人の参加があつた。

【全員賛成で認定】

医後期高齢者会計

度から公営企業会計での運用が始まっている。営業収益は、5187万円、営業費用は、9055万円。

歳入8147万円、歳出8120万円。被保険者数は810人で、前年度より9人の増加。

被保険者のうち、75歳以上は805人で全体の99・4%、65歳以上75歳未満で障害認定を受けた者は5人で、全体の0・6%となる。

村道長谷線の老朽化した水道管の布設替工事や経年劣化が進んでいる井ノ本水源地No.1取水ポンプ取替工事を実施した。

また、災害時などにおいて業務の早期復旧を図るためのBCP（業務継続計画）の策定や老朽化が進んでいる長谷地区送水管の布設替工事の設計に取り組んだ。

芸西浄化センターやマンホールポンプ場などを、経年劣化が進んでいる設備の状態を調査したストックマネジメント計画に基づいて、老朽化した設備などの改修設計に取り組んだ。

高知県後期高齢者医療広域連合への負担金は、360万円増の762万円となつた。

【全員賛成で認定】

事簡業易会水計道

【全員賛成で認定】

会計事務は、下水道事業と同様に令和6年

【全員賛成で認定】

事業は、下水道

下水道事業会計

営業収益は、471

5万円、営業費用は、1億6429万円。

浄化センターやそれ

ぞの地区にあるマンホールポンプ場などの維持管理が主な業務となつており、専門業者への委託により適正な

管理と異常時の早期対応に努めた。

芸西浄化センターやマンホールポンプ場などを、経年劣化が進んでいる設備の状態を調査したストックマネジメント計画に基づいて、老朽化した設備などの改修設計に取り組んだ。

下水道への接続は、一般住宅31戸の申請があり、年度末の下水道

加入率は79・3%となつた。

●議会の動き

7月

- 2日(水) 安芸郡町村議会議長会議員研修(安田町)
3日(木)~4日(金) 芸西村議会視察研修(熊本県)
10日(木) 四国四県町村監査委員協議会研修会
(高知市) 【監査委員】
11日(金) 議会だより126号第3回広報編集委員会
14日(月) 8の字ネットワーク四国地方整備局要望
(香川県) 【議長】
17日(木)・18日(金)・24日(木)・28日(月)

決算審査(事前審査含む)【監査委員】

- 17日(木) 安芸広域市町村圏事務組合定例会・ご
な線総会(安芸市) 【議長】
18日(金) 例月出納検査 【監査委員】
22日(火) 高知県議会議員広報研修会(高知市)
31日(木) 高知県市町村議会議員研修(高知市)
海岸整備促進期成同盟会(香南市)
【議長・副議長】

8月

- 1日(金) 全員協議会(教育施設集約化計画の説明)
5日(火) 8の字ネットワーク中央(本省)要望(東
京都) 【議長】

12日(火) 令和7年第1回芸西村議会「臨時会」

15日(金) 芸西村戦没者追悼式

- 18日(月) 例月出納検査 【監査委員】
25日(月) 8の字ネットワーク四国東南部連盟総会
(安芸市) 【議長】
29日(金) 令和7年第3回芸西村議会「定例会」議
会運営委員会
県政との意見交換会(高知市) 【議長】

9月

- 5日(金) 令和7年第3回芸西村議会「定例会」開
会
10日(水) 令和7年第3回芸西村議会「定例会」一
般質問
11日(木) 令和7年第3回芸西村議会「定例会」審
議採決・閉会
議会だより127号第1回広報編集委員会
15日(月) 芸西村敬老会
17日(水) 例月出納検査 【監査委員】
22日(月) 議会だより127号第2回広報編集委員会
25日(木) 四国四県町村長町村議長大会(高知市)
【議長】

補正額5億3,960万円の増額
総額70億8,663万円

主なもの

区分	金額
地場產品直販所増築工事費	1,013万円
移住支援事業補助金	100万円
赤野川線補修工事費	400万円
災害対策備品費	148万円
施設整備基金積立金	2億3,334万円
こうち農業確立総合支援事業費 補助金	△1,705万円

【全員賛成で可決】（※地場產品直販所…かっぱ市）

施設整備基金積立金
2億3334万円
地場產品直販所増築工事費
1013万円住宅資金貸付会計
(第1号)
【全員賛成で可決】居宅支援サービス給付
費150万円の増など。
【全員賛成で可決】12万円を追加し、総額を125万円とするもの。
一般会計繰出金12万円の増。

【全員賛成で可決】

国保会計
(第1号)
【全員賛成で可決】

主なものは、システム改修委託料212万円の増など。

1227万円を追加し、総額を7億782万円とするもの。

主なものは、基金積立金367万円、子ども・子育て支援法改正対応作業委託料563万円の増など。

主なものは、基金積立金367万円、子ども・子育て支援法改正対応作業委託料563万円の増など。

【全員賛成で可決】
簡易水道事業会計
(第2号)
【全員賛成で可決】

主なものは、維持管理修繕費154万円など。資本的支出2640万円を追加し、総額を1億1003万円とするもの。

831万円を追加し、総額を6億38万円とするもの。
【全員賛成で可決】
介護保険会計
(第1号)
【全員賛成で可決】主なものは、国庫支出金精算返納金630万円、
万円。
【全員賛成で可決】主なものは、維持管理修繕費154万円など。資本的支出2640万円を追加し、総額を1億1003万円とするもの。
【全員賛成で可決】

令和7年 第3回 9月定例会 審議結果

議 案		結果	堀川 友久	坂本 史	山本 俊二	濱田 圭介	安岡 公子	西笛 千代子	岡村 俊彰	岡村 星弥	仙頭 一貴
議案第43号	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第44号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第45号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第46号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第47号	芸西村簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第48号	令和6年度芸西村一般会計の決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第49号	令和6年度芸西村住宅新築資金等特別会計の決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第50号	令和6年度芸西村国民健康保険特別会計の決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第51号	令和6年度芸西村介護保険事業特別会計の決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第52号	令和6年度芸西村後期高齢者医療特別会計の決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第53号	令和6年度芸西村簡易水道事業会計の決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第54号	令和6年度芸西村下水道事業会計の決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第55号	令和7年度芸西村一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第56号	令和7年度芸西村住宅新築資金等特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第57号	令和7年度芸西村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第58号	令和7年度芸西村介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第59号	令和7年度芸西村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第60号	令和7年度芸西村簡易水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
発議第2号	消費税減税、インボイス制度廃止でくらしと営業を守る意見書	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	議長

※「○」は賛成。「×」は反対。「×」は欠席。「議長」は採決に加わらないが、可否同数の場合は議長採決。

意見書（議員提出）

◎消費税減税、インボイス制度廃止でくらしと営業を守る意見書

【賛成多数で可決】

送り先：内閣総理大臣ほか関係各大臣

第1回

臨時会

(8月12日)

財産の取得

Windows 10の
サポート終了に伴い、
庁舎のパソコンを更新
するもの。

令和7年度 補正予算

一般会計 (第2号)

9億6486万円を
追加し、総額65億47
02万円とするもの。
主なものは、ふるさ
と納税関連経費7億
万円の増など。

【全員賛成で可決】

完成期限

令和7年10月31日

契約の相手方

株式会社高知事務機
【全員賛成で可決】

契約金額

1040万6000
円 (内消費税94万
600円)

契約の方法

指名競争入札

コン3台

2 in 1型ノートパソ
ン7台

取得する財産

ノートパソコン52台
デスクトップパソコン

令和7年度

補正予算

令和7年 第1回 臨時会 審議結果

議案		結果	堀川 友久	坂本 史	山本 俊二	濱田 圭介	安岡 公子	西笛 千代子	岡村 俊彰	小松 康人	岡村 星弥	仙頭 一貴
議案第41号		可決	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	議長
議案第42号		可決	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	議長

※ 「○」は賛成。「×」は反対。「欠」は欠席。「議長」は採決に加わらないが、可否同数の場合は議長採決。

議会の傍聴に
お気軽に
おいでください。

おいでください。

議場の音声を庁内放送しております。
庁舎3階へお越しになれない方も、庁舎1
階・村民会館1階でもお聴きいただけます。

次の定例会は

12月の予定です。

編集委員

委員長 西笛千代子
副委員長 岡村 星弥
委員 堀川 俊彰
濱田 圭介
安岡 公子
山本 俊二
仙頭 一貴

詳しく述べ
りたい方は、村のホームページ
でも会議録が閲覧できます

議会事務局 (TEL)
33-2137



議員の訃報について

去る、9月6日に、芸西村議會議員 小松康人氏（6期当選）が、ご逝去されました。
謹んで、ご冥福をお祈りします。



9月定例会では4氏が登壇し、村政全般について質問しました。

■安岡 公子 11p

- ・こども誰でも通園制度は
- ・浄化槽設置整備補助金の対象拡充は

■坂本 史 12p

- ・フレイル予防の取り組みは

■堀川 友久 13p

- ・かっぱ市を道の駅に

■岡村 星弥 14p

- ・村民との対話を優先に

こども誰でも通園制度は

令和8年度から実施予定 教育長



安岡 公子議員



みてみてペッタンするよ（保育所にて）

問
安
岡
議
員

答
佐
藤
教
育
次
長

こども誰でも通園制度は、令和8年度から全国すべての市町村で実施が予定されている。条例整備とともに保育現場の準備も含めて実施状況を問う。

この制度とは、全ての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な生育環境を整備とともに、全ての子育て家庭に対し、多様な働き方やライフケーストにかかわ

らず、保育支援を強化するために創設された制度である。

保育所等に通っている生後6か月から3歳未満の乳幼児が、月10時間以内の枠内で利用でき、令和8年度から全国的に実施される。

本村では対象児に0歳が多いことから、在園児と一緒に保育をし、クラスの安定や安全面からクラス担任に加えて職員を配置する方法での実施を予定している。

本村では対象児に0歳が多いことから、在園児と一緒に保育をし、クラスの安定や安全面からクラス担任に加えて職員を配置する方法での実施を予定している。

保育現場とともに、体制を作ることが大事ではないか。

保育現場とともに、体制を作ることが大事ではないか。

答 山内 教育長

この制度の意義としては、子どもが家庭とは異なる経験ができること。

地域に初めて出向き家族以外の人と関わる機会が得られること。

同じ年ごろの子ども同士が触れあいながら家庭だけでは得られないさまざまな経験を通じて、物や人への興味や関心が広がることで、子どもの社会情緒的な成長発達につながることが期待される。

また、保護者にとつても専門的な保育士との関わりが、孤立感、不安感の解消につながり、育児に関する負担感の軽減につながることが期待できる。

問 安岡議員

下水道認可区域であるが、立地条件などか

めのスキルが求められる。

加えて家庭を初めて離れて戸惑い、不安になる子どもの保育に通

常以上に労力が割かるなど、現場にかかる負担は少くない。

関係部局と共通理解を持ち、保育現場の実情と保護者のニーズを見極めながら、実施可能な方法を検討していく。

浄化槽設置整備補助金の対象拡充は

拡充・見直しを検討 土木環境課長

答 山本土木環境課長

ら下水道への接続が困難な排水不良区域などは、浄化槽設置整備事業補助金が適応されず、全額自己負担となっている。

本村単独での補助制度を作つてはどうか。

下水道管の位置が高く、物理的に下水道管へ接続が困難なケースについては、補助対象の拡充を検討していく。

下水道区域内ではあるが、下水道の供用が開始されてない区域は、補助対象の拡充に加えて、区域の一部見直しを検討していきたい。

フレイル予防の取り組みは

フレイルサポーター制度を広めていきたい 村長



坂本 史議員

答 荒井健康福祉課長

フレイル予防は、食事・運動・社会参加が重要とされている。そこで、本村はどのような取り組みをしているか聞く。

問 坂本議員

あつたかふれあいセンターなど村内各所で栄養教室・口腔機能教室・体力測定・レクリエーション交流会などの事業を実施している。今年度は、高齢者がボランティア活動やフレイル予防活動に積極的に参加することで、いきいきと元気に暮らすことができる地域社会を目指して、「^{※2}にっこりポイント」事業を開始した。

今後は、住民が互いに誘い合い励ましあいながら、フレイル予防を主体的に行う、フレ

イルサポーター活動の準備を進めていく予定である。

問 坂 本 議 員

健康寿命を延伸させるために一つの方策として、フレイル予防は重要である。

特に、フレイルサポート制度は、高齢者自身が研修を受けてサポートとなり、フレイル予防活動を広め

り組みを継続していく必要がある。

答 松 本 村 長

ることで、自分自身の健康づくりや生きがいづくりにもなる。

非常に優れた取り組みであると思うため、広めていきたいと考える。

そして、高齢となつても元気にいきいきと暮らせる、村づくりを進めていきたい。



あつたかふれあいセンター

※1 フレイルとは
加齢により心身が
衰え始めた状態

※2 にっこりポイント
とは
ボランティア活動
(ちょいボラ)や介護
予防教室等に参加する
と付与されるポイント

かっぱ市を道の駅に

検討を深めた上、方向性を定めていきたい | 村長



堀川 友久議員



かっぱ市

問 堀 川 議 員

高規格道路が完成した場合、村を素通りされる可能性が高まるため、早めの対策が必要であると考える。例えば、かっぱ市を道の駅にすることで、地域振興を促進する拠点となり、特産品や観光資源のPRや、商工会などと連携し、イベ

ントなども行なうことができるのではないか。

これにより、産業発展や交流人口増加にも多くの効果をもたらし、今以上の雇用が生まれ、人口減少の対策にもつながると思うが、本村の考えを聞く。

答 松 本 村 長

かっぱ市は、これまで

魅力を高めるため改修
でにも来客数の増加や

資するものであると、十分認識している。

村内外の人たちからも好評をもらっているが建物や駐車場が手狭なこともあります、今後大きくなる来客数を伸ばすには課題があることも事実

場所の選定や財源、用地の確保といった、大きな課題があるので、今後、十分に検討を深めていきたいと考える

今後、現行の施設拡大や新たな場所に大規模に整備して本村の特産品の販売や情報発信の拠点とすることは、今後の発展に向けた施策の一つになると考えます。

しかし、道の駅として登録するためには、十分な駐車場を確保し24時間利用可能なトイレを10基以上設置するなど、一定の条件を満

村民との対話を優先に

体制づくりを進めたい 副村長



岡村 星弥議員

問 岡村（星）議員

割り当て、定期的に部落会などへ参加する仕組みを制度化できないか。

できるが、その半面で、
仕事の一環とする場合
には、部落会などは、
休日や夜間となること
が多い。

答 都築副村長
職員には、積極的にボランティア活動や地域行事などへ自発的に参加してもらいたいと考える。

村民との対話を優先
業務と位置づけ、信頼
関係を強化することで
村民に寄り添ったサー
ビスの向上につながる
のではないか。

全ての地域へ配置する場合には、多くの人員が必要である。通常業務とは別に兼務として割り当てる必要があり、職員の業務量が増える懸念がある。

また、地区懇談会の見直し、既存の人材や仕組みを活用する方法で、住民からの困りごとや地域課題の把握に努めていきたい。

答 都 築 副 村 長
部落会などの集まり
へ職員が参加すること
で、地域住民との関係
性の構築や地域課題を

いくつかの対策すべき課題もあり、制度化は現状では、慎重にならざるを得ないと考えます。

時間とれる体制つくりを進めていきたいと考える。

身近に感じることがで
きる貴重な機会になる
と思う。

問 岡村（星）議員 限られた人員と時間

の中、職員が日常的に村民と対話できる機会を増やすための、具体的な代替案を検討できなか。

職員を住民に知つて
もらえる、身近に感じ
てもらえる効果も期待

き
な
い
か。
。

視察 報告

芸西村議会議員視察

令和7年7月3～4日の2日間の日程で、熊本地震の復興状況・防災の取り組みを視察しました。

また、2日目には悲惨な戦争を繰り返さないため、大刀洗平和記念館の視察をしました。

参加議員の復命書の一部を掲載します。

2025.7.3 熊本城

大天守は復旧していたが石垣、本丸御殿、宇土櫓などすべての復旧工事が終了するのには45年から50年かかるということだった。



熊本城

2025.7.4 熊本地震震災ミュージアム KIOKU



熊本地震震災ミュージアムKIOKUにて

旧東海大学阿蘇キャンパスの震災遺構での説明を聞き、車窓から崩壊した橋や山の斜面を見学。

災害の大きさを身をもって感じることができ、自分の置かれている立場、これからの行動を考えさせられた。

災害は突然にやってきて、ズタズタにされる中で、議員として、議会としてできることは何か。自助を育てるために何か行動を起こすことはできないかを考えさせられた視察だった。



大刀洗平和記念館施設内

大刀洗平和記念館

悲惨な戦争の事実と平和の大切さを伝えるために多くの資料が展示されていた。

課外学習の生徒たちも多く、事実がそのまま展示されているので、受け止め方はそれぞれだと思うが、二度と起こしてはならない戦争の惨禍としての歴史を学ぶことは大切だと感じた。

県外への視察は初めてだったが、現場に行って実際の場面に触れると、より深く知ることができるので大変勉強になった。また、台湾の企業の参入で雇用が生まれ、町がつくられていくことなど、バスガイドの説明から得るものもあった。

議員として何ができるのか、この体験を今後に生かしていきたい。

<安岡 公子>

本研修では、震災後約10年の熊本地震の被災の様子、その発生メカニズム、防災について学びました。

本村では、絶対に来るといわれている南海大地震について、村民一人ひとりが自分の命を守ること、食料や水などの備蓄の必要性などを考え準備していくことの重要性を伝えていくことが、どれほど重要か学んだ。

また、行政や住民には今の準備でいいのか見直し、これから何ができるのか後悔しないようにできる限りの準備に取り組んでほしいと思う。

〈山本 俊二〉

崩壊した阿蘇大橋



市町村議会議員研修

等研修会が、7月2日に安田町文化センターで開催され、7町村の議員、監査委員などが集まりました。

「人口2／3激減時代の到来と「新」成長戦略／自治体詳細分析

市町村議会議員研修会が、7月31日に県民文化ホールで開かれ、「地方議会の役割—地方の改革は議会から」と題した講演があり、研修を受けました。

安芸郡町村議会議員研修会

と近未来予測・安芸郡を測る」についての講演があり、研修を受けました。

研修

市町村議会議員研修会



QR (拡大)

